

別紙

＜検討素案＞

行政のイノベーションに関するご意見・ご提案の募集について

平成27年〇月〇日

総務省行政管理局

総務省では、従来の行政運営にとらわれず、国の行政機関における業務の進め方や国民との関わり方などについて、その改善・充実のための新機軸を検討するため、「行政イノベーション研究会」（座長：原田 久 立教大学副学長）を開催しております。

このたび同研究会では、今後の検討を意義あるものとするため、行政のイノベーションに関するご意見・ご提案等を下記のとおり広く募集することとなりましたので、お知らせします。

記

1. 募集期間

平成27年〇月〇日（〇）から〇月〇日（〇）までの1か月間

2. 募集するご意見・ご提案等の概要

昨今の国の行政機関における業務の進め方や国民との関わり方などに関し、例えば、次のような事項についてお気づきの点、改善すべき点などがございましたら、ご意見・ご提案等を自由にお寄せください。

＜例＞

- ・ 各種の広報やホームページ等により提供されている行政情報や各種データは、充実してきているか。それらは、わかりやすく、使いやすいものとなってきているか。
- ・ 行政からの様々な情報提供の方法として、今後どのような工夫が求められるか。
- ・ 行政に対する申請や報告などの負担は、軽減されてきているか。それらの窓口におけるサービスは、改善されてきているか。
- ・ 行政のICT化（情報通信技術の活用）により、行政サービスは向上してきているか。これにより、国民や行政の事務の負担は軽減されてきているか。
- ・ 申請や照会に対する行政の対応は、スピード感をもって行われているか。
- ・ パブリック・コメントや行政相談などにより、行政に対して民意が一層反映されるようになってきているか。
- ・ 行政に対する信頼は、ホームページなどによる行政情報の提供、行政手続の適正化などの取組みにより、向上してきているか。
- ・ 職員の高齢化に対応するとともに、女性職員を一層活用し、行政の機能を高めていくためには、行政にはどのようなワークスタイルが求められているか。

- ・ 行政は、前例やしがらみにとらわれず、この国の未来を見据えて、各種のデータやニーズに基づいて、的確な政策を打ち出してきているか。
- ・ 行政の業務、体制、規模等は、人口減少、少子・高齢化等の行政を取り巻く諸環境の変化に対応できているか。
- ・ 行政は、コストの削減とサービスの質の維持・向上の両立をできているか。
- ・ 行政における各種改革（行政改革、規制改革、業務改革等）は進んできているか。これらを一層進めるためには、どのような工夫が考えられるか。 等

3. 対象者

本件についてのご意見・ご提案等は、個人、民間企業、各種団体、行政機関等を問わず、どなたでもご提出いただけます。

また、提案者名は、匿名とすることもできます。

4. 方法

以下のいずれかの方法で、ご意見・ご提案等をご提出ください（様式は自由です。）。

- ・ メールの場合

…

- ・ ファクシミリの場合

…

- ・ 郵送の場合

…

5. その他

お送りいただいたご意見・ご提案につきましては、匿名化した上でその概要を資料として取りまとめ、今後開催される行政イノベーション研究会における議論において活用させていただきます。また、当該資料は、同研究会終了後、その配付資料の1つとして公表させていただきます。

なお、お寄せいただいたご意見・ご提案等につきましては、個別のお返事はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

また、ご意見・ご提案の内容によりましては、行政相談など、課題を解決する上でよりふさわしい国の行政の窓口を紹介させていただくこともあり得ますので、ご承知おきください。

※ ご意見・ご提案等の参考資料として、以下のサイトで公開している行政イノベーション研究会におけるこれまでの議論の状況についてもご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/gyousei_innovation/index.html

本件問合せ先

…